

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報														位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。													
事務事業名 農業振興事業費(農政課農政係分)				補助区分 <input checked="" type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単		終期 <input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない		予算科目 区分 一般会計		款 6 項 1 目 3 事業 1		担当部 経済環境部		担当課 農政課		担当係 農政		係 作成者 田中 佑一		内線(電話番号) 2310		シート作成日		H30.5.30		部長決裁日 H30.10.24	
位置付けられている計画等		<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略				<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 :)				根拠法令及び市条例等		<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 :) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称 :)															

2 事務事業の目的														当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。													
現状課題		農業者の高齢化、廃業等により農業者の減少が続き、今後ますます生産力が低下することが懸念され、今後の農業発展のためには担い手農家を支援し経営規模の拡大を図るとともに、新たな担い手となるべく新規就農者の育成が必須である。				誰・何を対象に 担い手農家、今後担い手になる見込みのある新規就農者				どのような方法・手順で ・就農前の研修期間の生活安定や就農直後の経営確立を支援する資金を交付することで新規就農者の就農定着を推進する。 ・担い手農家が機械導入する際に補助金を交付することで経営規模拡大を支援する。				望ましい状態		補助事業を利用して新規就農した農家が、今後の農業を支える担い手農家として定着することで生産力向上につなげる。											

3 事務事業の主たる成果指標														数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。													
指標名		新規就農者数		単位 人		目標値 5		目標年次 平成 毎 年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)		毎年5人新規就農者を増やす。															

4 事務事業の実績 ㉑														当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。													
年度		平成27年度				平成28年度				平成29年度																	
		業務名				業務名				業務名																	
事務事業を構成する主な業務		① 経営体育成支援事業 14,826,000 7件 ② 青年就農給付金 2,250,000 2件 ③ 農業経営基盤強化資金利子補給金 1,029,962 32件 ④ 県西地方地域農政推進研究会負担金 15,000 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫				① 担い手確保・経営強化支援事業 1,925,000 1件 ② 青年就農給付金 2,250,000 2件 ③ 農業経営基盤強化資金利子補給 705,762 18件 ④ 県西地方地域農政推進研究会負担金 15,000 ⑤ 担い手確保・経営強化支援事業 1,925,000 1件 ⑥ 指導農業者等謝礼 4,000 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫				① 経営体育成支援事業 8,964,000 4件 ② 農業次世代人材投資 4,500,000 3件 ③ 農業経営基盤強化資金利子補給 504,526 13件 ④ 県西地方地域農政推進研究会負担金 15,000 ⑤ 指導農業者等謝礼 27,650 ⑥ 担い手確保・経営強化支援事業 0 0件 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫																	
		目標値に対する実績値 2 人				目標値に対する実績値 2 人				目標値に対する実績値 3 人																	
決算額		計 18,120,962 円 内訳 特定財源 18,105,962 円 一般財源 15,000 円 (住民一人あたりの行政コスト) 293 円				計 6,820,762 円 内訳 特定財源 6,805,762 円 一般財源 15,000 円 (住民一人あたりの行政コスト) 112 円				計 14,011,176 円 内訳 特定財源 13,996,176 円 一般財源 15,000 円 (住民一人あたりの行政コスト) 232 円																	

5 担当者評価 ㉒		実施したことによる成果や問題点を記入してください。	
成果	目標は設定していない	成果内容	新規に3名が就農し、経営資金年間150万円を補助。3年間で担い手12経営体に対し、機械導入費用の一部補助を実施。
問題点	国補事業であるため、補助申請を申し込んでも通らないことも多い。補助金の審査がポイント制であるため、少しでも経営体に有利になるよう、ポイントアップにつながる情報提供が必要である。		

6 担当部長及び担当課長評価 ㉓		担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	少子高齢化により農業従事者・新規就農者の確保は、非常に難しい状況ではあるが、国・県・市が支援することで、農業経営の安定を図ってまいりたい。また、今後の農業を支える担い手農家のもとで新規就農者の育成を継続して支援していく。		

7 実施計画 ㉔														今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。													
年度		平成30年度				平成31年度				平成32年度																	
事業内容		経営体育成支援事業 18,000,000 農業次世代人材投資 12,000,000 農業経営基盤強化資金利子補給金 800,000 県西地方地域農政推進研究会負担金 15,000 指導農業者等謝礼119,000 担い手確保・経営強化支援事業(補正対応)				農業振興事業費のうち農政係所管の事業は31年度より農業総務費(06-01-02-02)に項目変更予定				農業振興事業費のうち農政係所管の事業は31年度より農業総務費(06-01-02-02)に項目変更予定																	
予算額		歳出 計 30,934 千円 特定財源 30,919 千円 歳入 一般財源 15 千円 計 30,934 千円				歳出 計 0 千円 特定財源 0 千円 歳入 一般財源 0 千円 計 0 千円				歳出 計 0 千円 特定財源 0 千円 歳入 一般財源 0 千円 計 0 千円																	

8 財務アドバイザーの見解		『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。	
---------------	--	---	--

9 行政改革懇談会(市民)の意見		担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。常総市の命運がかかっている事業の一つである。農業後継者については全国的にも大きな課題であり、JAとも連携を取りながら取り組んでいただきたい。農業の担い手が少ない原因として、経営が安定せず収入が少ないという理由があげられる。新規就農者のバックアップをお願いしたい。	
------------------	--	---	--

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉕		事務事業の方向性	
		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由	農業後継者の確保、新規就農の支援及び農業の経営安定、規模拡大を図るべく、国、県、市が今後も担い手農家の育成を支援していくべきである。		

11 事務事業の改善理由 ㉖		実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。	
事業内容	新規就農者を金銭面、技術面等で支援することで就農定着を促し、常総市農業を支える、次世代の担い手農家を育成し、担い手農家に対しては、経営安定や規模拡大を支援していく。また、新規就農を検討している人や農業法人従業員が新規就農しやすい環境作りに努めていく。		